

授業 3-1	アイデアの種をつくる① 興味・関心から発想を広げる		
ねらい	アイデアを発散するための方法としてマンダラートの手法があることを理解させ、そのマンダラートを用いて、身近にある困りごとを挙げることで発想力を養わせる。	教材	ワークシート 1 枚

展開時間	指導内容	留意事項	
導入 5 分	1 アイデアを生み出すためのプロセスを理解しよう。		
	①事業アイデアを創り上げるためのプロセスを説明する。 ②マンダラートの作成方法について説明する。	・マンダラートの作成について理解できない生徒がいた場合、過去の生徒や教員が作成したマンダラートを例に理解させる。	
展開 1 10 分	2 [ワーク①]マンダラートを作ってみよう 1		
	・みんなが好きそうな食べ物をテーマにマンダラートを作成させる。(個人10分)	・質より量を重視することを伝える。	
展開 2 30 分	3 [ワーク②]マンダラートを作ってみよう 2		
	・身近にある困りごとをテーマにマンダラートを作成させる。(個人10分) ・周りの生徒と見せ合わせる。(5分) ・ワーク③を再度記入させる。 (個人10分)(グループ共有5分)	・周り生徒とマンダラートを見せ合う方法はクラスによって判断させる。 (例 グループで回し見をする。教室内を自由に移動する等。)	
まとめ 5 分	4 [ワーク③]本時の振り返り		
	・本時の気づきを記入させる。 (個人5分)	・発散・収束のうち、本時は発散の部分を練習したことを再度確認し、振り返りをさせる。	